

倭名類聚抄

元和三三年古活字版
〇延喜四年
〇十年
〇一十年

(九〇) 醍醐天皇第四皇女勳子内親王(一)誕生。(後に、藤原師輔に降嫁)。母は更衣周子(源氏)。
(九一) 勳子内親王、御年七歳。(和名抄序、「七歳、初謁先帝(醍醐帝)」)。先帝は、延長八年(九三〇)、醍醐天皇崩御の後の稱。(一)

延喜十八年(九一八)頃に深根輔仁が編纂した「本草和名」は、日本最古の本草辞書である。三十余部の中国医書より一〇二五種の薬物を挙げ、配列は「新修本草」によっている。漢名の別称と和名を記しており、薬物の国内供給に対処すべくもくろまれたものである。(小宮)

年纔七歳 初謁先帝

大醫博士深江輔仁奉勅撰集新鈔倭名本草

大醫博士深根輔仁

日本紀略云、延喜十八年九月十七日、有衛門醫師深根輔仁撰、中要方類聚符宣抄(核齋箋注)

大醫博士深根輔仁

延喜十八年(九一八)頃に深根輔仁が編纂した「本草和名」は、日本最古の本草辞書である。三十余部の中国医書より一〇二五種の薬物を挙げ、配列は「新修本草」によっている。漢名の別称と和名を記しており、薬物の国内供給に対処すべくもくろまれたものである。(小宮)

延喜十八年(九一八)頃に深根輔仁が編纂した「本草和名」は、日本最古の本草辞書である。三十余部の中国医書より一〇二五種の薬物を挙げ、配列は「新修本草」によっている。漢名の別称と和名を記しており、薬物の国内供給に対処すべくもくろまれたものである。(小宮)

延喜十八年(九一八)頃に深根輔仁が編纂した「本草和名」は、日本最古の本草辞書である。三十余部の中国医書より一〇二五種の薬物を挙げ、配列は「新修本草」によっている。漢名の別称と和名を記しており、薬物の国内供給に対処すべくもくろまれたものである。(小宮)

大政大臣本朝式職負今云大政大臣

自醍醐山陵雲愁水咽

不拂秦箏之塵時時慰幽閑者書畫之戲而已

僕之先人幸忝公主之外戚

僕之老母亦陪公主之下風

内慙公主之照覽

酒臺子辨色立成云酒臺子

煎餅 楊氏漢語抄云煎餅

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

和名抄関係事項略年表(稿)

附 関係資料集

勉誠社文庫 23

大醫博士深根輔仁

日本紀略云、延喜十八年九月十七日、有衛門醫師深根輔仁撰、中要方類聚符宣抄(核齋箋注)

醍醐天皇崩御の後の稱。(一)

源順生まる。嵯峨源氏。父、源季の第三子。季は醍醐天皇の更衣周子と従兄弟の関係にあたる。

延喜十八年(九一八)頃に深根輔仁が編纂した「本草和名」は、日本最古の本草辞書である。三十余部の中国医書より一〇二五種の薬物を挙げ、配列は「新修本草」によっている。漢名の別称と和名を記しており、薬物の国内供給に対処すべくもくろまれたものである。(小宮)

延喜十八年(九一八)頃に深根輔仁が編纂した「本草和名」は、日本最古の本草辞書である。三十余部の中国医書より一〇二五種の薬物を挙げ、配列は「新修本草」によっている。漢名の別称と和名を記しており、薬物の国内供給に対処すべくもくろまれたものである。(小宮)

延喜十八年(九一八)頃に深根輔仁が編纂した「本草和名」は、日本最古の本草辞書である。三十余部の中国医書より一〇二五種の薬物を挙げ、配列は「新修本草」によっている。漢名の別称と和名を記しており、薬物の国内供給に対処すべくもくろまれたものである。(小宮)

高山寺本倭名類聚抄解説(昭和七年)(古簡集影(東大史料編纂所編)所載)

倭名類聚抄

高山寺本 原本大

新潟縣 保阪潤治氏所藏

倭名類聚抄ハ、朱雀天皇ノ朝能登守源順ガ撰スル所ナリ、初メ醍醐天皇第四ノ皇女四品勳子内親王、幼ニシテ叡悟、箏ヲ善クシ、書畫ニ巧ニシテ、物名ヲ討究シ給ヒ、特ニ順ニ命ジテ本書ヲ撰バンメ給ヘリ、蓋シ順ノ父左馬助舉ハ、内親王ノ外戚ニシテ、母モ亦内親王ノ近侍タリシヲ以テナリ、順因リテ辨色立成楊氏漢語抄、和名本草、日本紀私記等ノ和名、及ビ萬葉集、類聚國史、三代式等ノ假字ヲ輯録シ、之ヲ天地、人倫、草木等ノ數十部門ニ類別シ、名ケテ倭名類聚抄ト曰フ、

本書ニハ廣略二本アリ、廣本ハ二十卷本ニシテ、四十部、二百六十八門ヨリ成ル、元和四年、那波道圓始メテ之ヲ刊行ス、流布刊本即チ是ナリ、略本ハ十卷本ニシテ、二十四部、百二十八門ヨリ成ル、尾張名古屋實生院所藏弘安六年ノ古寫本ハソノ一部ナリ、文政十年、狩谷棧齋略本十卷ヲ考證シテ箋注倭名類聚抄ヲ著ハス、明治十六年、印刷局ニテ刊行セルモノ、即チ是ナリ、廣略二本ヲ對照スルニ、廣本ノ略本ヨリ多キモノ、歳時音樂職官、國郡居處、香藥ノ六部アリ、コノ中、職官、國郡ノ二部ヲバ、稻葉通邦ハ、後人ノ加フル所ト爲シ、狩谷棧齋ハ、職官、國郡ノ二部ノ倭名中、字音ノ開合ニ違格アレバ、廣本ハ原本ニアラザル由ヲ論ゼリ、蓋シ字音開合ノ違格トハ、職官部ニ、大炊寮ヲ於保爲乃豆加佐「下訓」國郡部ニ、和泉國大鳥郡ノ郷名常凌「深」水ヲ「布賀爲」下訓メル類ヲ指セルモノナルガ如シ、サレド「ヒ」音便ニ「井」下稱スルハ、奈良朝以來ノコトニシテ、猶ホ萬葉集ニ「伊波爲都良」下訓シ、法華驗記ニ、神奈備寺ヲ「神奈井寺」下訓シ、古物語ニ「水鷄」水鷄ヲ「クキナ」下書セル等ト同例ニテ、決シテ違格ニハ非ズ、之ニ據リテ見レバ、廣本必ズシモ原本ニアラズトハ言フベカラズ、

成。楊氏漢語抄。(此二書、倭名抄に引用たるのみにて、今世に傳はらず、さて近頃予が得て藏たる、倭名抄に引る楊氏漢語抄と云は、楊梅大納言顯直卿、と云ひし仁の記されたる書なること知られたり、古史徴(平田篤胤全集第十二)

辨色立 文政四年 七月、狩谷棧齋、京都にて難波宗建旧藏本(京本)、又二本を写す(尊経閣文庫藏本識語)。

〇 元和三三年 郡波道圓、古活字版和名抄(二十卷本)を刊行。当時二十卷本、伝本稀。林道春序(元和三三年丁冬十一月)。この本、江戸時代を通じて和名抄の祖本となる。

〇 天保六年 五月、狩谷棧齋、箋注和名類聚抄「第三稿本」に着手。

〇 明治十一年 四月五日、岡本保孝、没。「和名抄分音」(一卷)、「和名抄引目」(一卷)あり。

〇 天保六年 五月、森立之、箋注和名抄訓纂「刊。和名抄和訓を「いろは順」にし、丁数を附す。

〇 天保六年 閏七月四日、狩谷棧齋、没。六十一歳。別に、「倭名類聚抄考証」(二十卷本の考註)の著あり。

〇 天保六年 秋、源順の母、没。「扶桑集」卷七、源順「五嘆吟并序」に拠る。洛西広隆寺の北にて没とす。和名抄序に、「僕之老母(生存を意味する)」とあり。和名抄「この年以前成る」。

〇 天保六年 動子内親王、藤原師輔に降嫁。四品に叙せらる(正月)。序文に「公主」とするは降嫁以前の稱、よつて和名抄はこの年以前に成るか(伴信友)。降嫁以後にも公主という証あり(願文集・七・師輔)(中田祝夫)。

〇 天保六年 承平八年五月改元十一月五日、勳子内親王薨(日本紀略、一代要記)。御年、三十五歳。和名抄序「内慙公主(勳子)之照覽」。「則知其成在內親王存在之日。蓋承平年間也(曲直瀬本一本識語)。

〇 天保六年 高山寺本和名抄(和名抄伝本中の最古のもの)「書写。二十卷本(第六郷里部より第十居処部に至る五巻、一帖)。(高山寺、保阪潤治旧藏、現天理図書館蔵)

〇 天保六年 和名抄関係事項略年表(稿)

〇 天保六年 和名抄関係事項略年表(稿)

〇 天保六年 和名抄関係事項略年表(稿)

倭名類聚鈔卷第三

源順撰

形體部第八

- 頭面類第三十
- 耳目類第三十一
- 鼻口類第三十二
- 毛髮類第三十三
- 身體類第三十四
- 筋骨類第三十五
- 肌肉類第三十六
- 藏府類第三十七
- 手足類第三十八
- 莖垂類第三十九
- 病類第四十
- 瘡類第四十一

頭面類第三十

首頭

釋名曰首音韻和名始也頭反訓侯

上同一云獨也言處體而獨貴也

顛

文字集略云顛音胡反字亦作體

良腦蓋也玉篇云顛體俗云此止

腦

良加之頭骨也

說文云腦反道作腦和名奈頭中

髓腦也

顛會

針灸經云顛會一云天窓顛音信

和名阿一云顛訓上交反

箋注倭名類聚抄卷第二

掖齋狩谷望之著

- 形體部第三
- 疾病部第四
- 術藝部第五
- 形體部第三
- 頭面類十三
- 耳目類十四
- 鼻口類十五
- 毛髮類十六
- 身體類十七
- 臟腑類十八
- 手足類十九
- 莖垂類二十

頭面類十三

首頭

釋名云首加字倍○山田本注首有音韻二

韻首頭也始也與顛同音在上聲四十四有

又云首自首前與將同音在去聲四十九

顛

顛則音狩非是義山田本有和始也○說文
名二字按加字倍髮方之本義始也○說文
百也百頭度侯反訓上一云實之良○本
頭也頭居氏曰依顛觸體雲顛則首頭訓
爲正名獨也言處體而獨貴也○所引釋形
於體高而獨也廣韻引同太平御覽引作處
體高而獨尊也此恐脫高字說文頭首也
文字集略云顛加波良○廣韻顛體加之良乃
加之良乃加波良頭瓦之義腦蓋也○說文
頭之有顛猶屋之有瓦也腦蓋也顛首
骨玉篇云顛體獨其二音俗云比度加之良
也○顛宗紀訓加之良乃保福
良比人頭之義頭骨也○今本玉篇骨部作頭
也王念孫曰急言之則曰頭徐言之則曰顛
顛轉之則曰顛顛廣雅顛顛謂之顛顛或但
之顛義亦同也按杜甫戲作花卿歌云子章

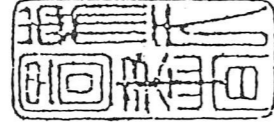
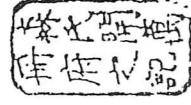
腦

顛體血模糊則人頭亦可稱顛然說文
顛顛首骨也顛氏蓋本之則無骨字似非
說文云腦奴道反字亦作腦和名奈都歧
總本無字廣本無字亦二字龍龜手鑑腦
爲正新撰字鏡頭中髓也○所引七部文原
醫心方同訓頭中髓也書腦作腦按玉篇
腦亦作腦原書今本作頭髓也無中字
慧琳音義三引皆作頭中髓也與此合

顛會

針灸經云顛會一名天窓顛音信字亦作
不著撰人名氏唐書云黃帝針灸經十二卷
今並無傳本不知源君所引何氏書而本
所引針灸經與針灸甲乙經其文多同唯此
及病類陰類條所引文無載醫心方云凶會
一穴一名天窓在上星後一寸半陷者中不
著出典蓋亦引針灸經也甲乙經云顛會在
上星後一寸骨間陷者中上星一穴在顛上

直鼻中央入髮際一寸陷者中可容豆又云
天窓在曲頰下扶突後動脈應手陷者中素
問氣穴論王冰注依之然則顛會天窓不同



森立之著



書誌學月報 別冊【5】

枳園隨筆 先哲美談 二

青裳堂書店

中央人文 262-0050

横浜市立図書館



2012439418

281

六村右樞齋

蘭軒先生歿後、樞齋ニ就テ小學ノ秘訣ヲ受ク、止モ
僅ニ月ニ三度、十ニテ、六學升ラズ元ヨ、樞齋ニ於テ人間ノ交シ
絶テ日ニ杖ニ向ク、以テ至樂トセリ、清人呂晉甫、亦雅正義
ヲ枳園釋言ニテモ讀カシク、我ニ無クシテ彼ニ無キ書
其後樞齋和名抄、實注ノ舉リ、因テ證類本草ヲ會讀
シ、彼此共ニ有益ニ書ニ醫理ニ關係シ、彼此同ニ我者
字義字體ノ我同、彼者ニ元

四書漸次
乾隆學人

六村齋、蓬庵ト秘對面ノ事
文化ノ初年、狩谷望之字、六卿、厩、樞齋ト號ス、俗稱
津輕屋、三右衛門トテ、津輕家ノ米穀、東都ニ運
漕ス、公悉皆三右衛門ノ手ニ經テ、後ニ積倉又
六甲都スル、テ、司、以、六、米、一、俵、ニ、付、キ、一、升、ヲ
以テ、右、發、類、ノ、資、ト、ス、故、テ、以テ、家、産、頗、ル、富、饒、藏、書
數萬卷ニ至ル